

科目名	ネイル技術Ⅱ		Subject	Nail Technics Ⅱ				
サブタイトル	ネイルケアに加えリペア、ジェル及びアクリルイクステンション、3D、エンボスアートの知識と技能を学びます。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
2年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
実習	1単位	30時間	◎		○	○		
ゲストスピーカー招聘回		なし						
教員名	加藤 宏美			メールアドレス	hkato@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	美容師兼ネイリストの経験をもとに実践に即した内容としています。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要																	
ネイル技術Ⅰで習得した技術を踏まえ、ネイル技術体系のひとつであるイクステンションの理論と技能を学び、造形的なネイルアートの制作を行う。イクステンションの知識を基にソークオフタイプのジェルの技術を学びプラクティスハンドと自爪に施術する。様々な爪の形状に対してどのように施術したらよいか、自ら考えて課題を解決する能力を養う。接客業として多様な価値観のお客様に対応できるように他者の考え方を理解し受け入れる能力を養う。関連科目として、トータル的な美を追求するために「メイクアップⅡ」や色彩学を学ぶことが望ましい。その他、ネイルビジネスを意識した他者へのホスピタリティーとして接客に関する科目を学習することが望ましい。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		－		－		－		－		あり－							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP1		ネイル技術体系のひとつであるアクリル及びジェルイクステンションの理論と技能を学び、自分と他者に施術することができる。															
DP3		様々な爪の形状に対してどのように施術したらバランスの良い爪になるのか、また爪のトラブルを見極めて、自ら考えて解決することができる。															
DP4		接客業として多様な価値観のお客様に対応できるように他者の考え方を理解し受け入れる能力を養うことができる。															
教科書・教材																	
教科書		『JNA テクニカルシステム BASIC 第3版』発行：NPO 法人日本ネイリスト協会 出版年：2020年 ・教員作成資料															
参考文献		『JNA テクニカルシステム ADVANCE 第3版』発行：NPO 法人日本ネイリスト協会 ASIN：B01AABNM1M															
各自準備教材		アルミホイル、メイク用スポンジまたはキッチン用スポンジ、小シザー（眉カット用など）、＊その他、ネイル技術Ⅰ参照。															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
40%		40%		10%		－		－		－		10%		－		－	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
個別に実地指導を行います																	
履修上の条件・注意																	
「ネイル技術Ⅰ」の単位取得が履修条件です。 実技はプラクティスハンド又は自爪で行うため、ナチュラルネイルとし、カラーリング、人工爪などは全て除去してきてください。爪の長さは必要以上に伸ばす必要はありません。2mm程度で十分です。授業内で迷惑行為にあたる言動は慎むこと。揮発性の高い液体を使用することがあるためマスクの着用を推奨します。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合があります。																	
本科目履修と関連する資格																	
JNEC ネイリスト技能検定2級																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	・オリエンテーションを行う。 ・道具、器具の扱い方を理解する。 ・テーブルセッティングを理解する。	道具、器具の扱い方、マニキュア化粧品の成分を知りし、ネイルサロンと同様の衛生措置を行うことができる。	復習として爪の構造と薬品名とその特徴を覚える。	60 分以上
第 2 回	チップラップ① ・プラクティスハンドの爪に装着する。	人工爪の一種であるチップラップの道具を正しく扱うことができる。	復習として材料の役割、扱い方を覚える。 予習としてチップラップの手順を覚えてくる。	60 分以上
第 3 回	チップラップ② ・自分の爪に装着する。	人工爪の一種であるチップラップの表面、先端を滑らかに整えることができる。長さ とバランスを考えて制作することができる。	理論のまとめとして、特に「爪の構造と働き」を復習して暗記する。	60 分以上
第 4 回	ジェルポリッシュ① ポリッシュタイプのジェルの使用方法を学ぶ。	材料の特長、使用方法を述べるができる。	次週までにアートのデザインを考えてくる。 * 作品制作はネイルチップを使用します。	60 分以上
第 5 回	ジェルポリッシュ② ・作品制作を行う。	アート用の素材を工夫してデザインを考えて制作することができる。	・授業で使用したジェルネイルの機材の特徴を覚える。 ・JNEC 検定受験者グループは試験要綱に沿ってタイム計測を行う。	70 分以上
第 6 回	スカルプチュアネイル① ・アクリルスカルプチュアの理論を学ぶ・筆の扱い方、フォームの装着や材料の特長、技法を学ぶ。	人工爪の理論、製品の特長を活かして技術を行うことができる。	長さを出すためのフォームの装着がスムーズにできるように練習する。	60～90 分
第 7 回	スカルプチュアネイル② ・実技を学び、実践する。	スカルプチュア技術を手順どおりに実践することができる。	美容実習やメイクアップ等の授業に支障の無いように、人工爪は授業内で除去する。理論と技術工程の復習をする。	60～90 分
第 8 回	・チップオーバーレイを学び、実践する。	正しく製品を扱い、自分の爪に施術することができる。	スカルプチュアとチップオーバーレイが同じ形状に仕上げられるように復習する。	60～90 分
第 9 回	ジェルの 3 D、エンボスアート① ・基礎技術を学び、実践する。	正しく製品を扱うことができる。	ジェルネイルの成分の特徴を覚える。	60～90 分
第 1 0 回	ジェルの 3 D、エンボスアート② ・アート制作を行う。	材料を正しく扱いながら立体的なアートを作ることができる。	ジェルネイルの機材の特徴を覚える。	60～90 分
第 1 1 回	ジェルネイル① ・理論を学び、実践する。	ジェル用品に関する理論と使用法に基づいて、材料を扱うことができる。	ジェルネイルの成分と使用する機材の特徴を覚える。	60～90 分
第 1 2 回	ジェルネイル② ・フローターの技法を学び、実践する・オフの方法を学び、実践する。	正しい手順の技術で、自分の爪に施術することができる。	ハードジェルとソークオフジェルを自爪から除去する技法の違いを復習して覚える。	60～90 分
第 1 3 回	ジェルスカルプチュア① ・材料の理論と使用方法を理解してジェルスカルプチュアを実践する。	材料の理論と使用方法に基づいて、実践することができる。	長さを出すためのフォームの装着がスムーズにできるように練習する。	60～90 分
第 1 4 回	ジェルスカルプチュア② ・実技を行う。	自爪で実践し、手順どおりに実践することができる。	次週のアートのデッサンを考えてくる。予習 60 分必要に応じて装飾品を持参する。	60～90 分
第 1 5 回	・ネイル技術のまとめを行う理論と技術を理解する。	スカルプチュアや 3D を取り入れながら独創的なネイルアートの作品を制作することができる。	スカルプチュアやエンボスアートを他者の要望に応じて時間を意識しながら実践する。	60～90 分